

市東地域の名所はここ!

フォトコンテスト応募作品の中から、
ちょっとだけ紹介します。



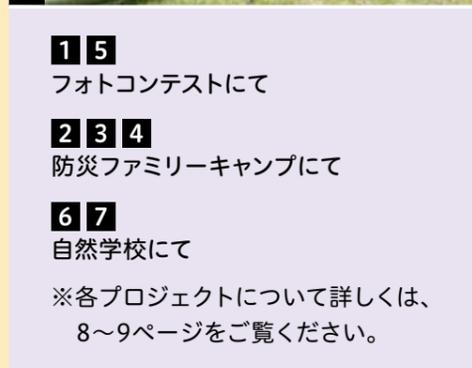
光徳寺の五百羅漢像 (中野 123)
平成 14 年、日蓮宗の立教開宗 750 年を記念し建立。像の表情は全て異なり、自分と似た表情の像があるかも? 梅雨の時期にはアジサイとのコラボレーションも楽しめます。



市原みつばち牧場 (高倉 272)
耕作放棄地を再生した養蜂農場。菜の花の他にも、季節に応じたミツバチの蜜源となる花や果樹が見られ、そこからの恵みである蜂蜜製品も大人気です。



瀬又の鯉のぼり (瀬又橋付近)
4～5月にかけて村田川を彩る 120 もの鯉のぼり。地元「瀬又清流会」の皆さんが長年続けているこの活動は、遠方からも多くの見物客が訪れる春の一大イベントです。



- 1 5 フォトコンテストにて
 - 2 3 4 防災ファミリーキャンプにて
 - 6 7 自然学校にて
- ※各プロジェクトについて詳しくは、
8～9ページをご覧ください。





魅力ある人と地域の活動

市東地域 15 町会共創プロジェクト

問合先 地域連携推進室 ☎(23)9998



ど、さまざまな課題を抱えています。そこで、市東の未来を考え、課題解決に向けた地元主体のプロジェクトを立ち上げようと、市が地元有志の皆さんへ働きかけ、令和 2 年 9 月に 15 町会長へ説明会を開催し、同年 11 月に市東地域の 5 会場で住民説明会を開催しました。

その後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、市と地元有志で継続協議を進め、令和 3 年 7 月に「市東地域 15 町会共創プロジェクト実行委員会」を設立。15 町会を

フィールドとしたフォトコンテストを開催し、市と連携して「対話の場」を設けました。そして、その後の「魅力向上塾」において多くの活動案が生まれ、具体的なプロジェクトへつながっていきましました。

『市東にあるさまざまな名所、物、人、伝統、自然…。市東にしかない素晴らしいものを活用し、市東をもっと輝ける地域にしたい』。そんな熱い思いを持って、実行委員会の皆さんはアイデアを出し合い、新たなプロジェクトを立ち上げ、現在も活動を続けています。

農村地域と、周辺に新しくできた住宅街からなる市東地域は、次の 15 の町会から成り立っています。

金剛地、奈良、古都辺、東国吉、高倉、高田、中野、瀬又、押



「市東」地域は市の北東部に位置しており、村田川とその支流が流れ、複雑に入り組んだ谷津からは水が湧き、豊かな自然に恵まれた歴史のある地域です。

市東ってどんなところ?

市の北東部に位置する市東地域では、現在、地域住民の皆さんが一体となって多様な地域課題の解決を目指すべく、市の支援と併せ、地域の発展・再生に向けたさまざまなプロジェクトを行っています。今月号では、主なプロジェクトの内容や市東地域で活動している人たちを紹介します。

沼、番場、永吉、菅田グリーンヒル、萩の台、瀬又台、猪の台

地域共創プロジェクトとは

地域の課題解決には、地元のコミュニティの方たちが一体となって取り組むことが重要になります。

市では地域の連携を強め、多くの住民が話し合って自分たちの地域に必要なことを「地域で決めて地域で実行する」という仕組み作りを進めるため、令和 2 年度から地域課題を話し合う「対話の場」と「地域魅力向上塾」という人材育成塾を一体で行う地域共創プロジェクトを進めてきました。

地域の取り組み

市東地域では、近年、住民の高齢化や耕作放棄地の拡大、バス路線の廃止、小学校の廃校な



カブトムシの幼虫に興味津々

『市東に生きる自然学校』と題して、自然豊かな市東地域の環境で生きていくための知恵や経験を、地元で生きる人たちに教えてもらい体験しよう！と始まった取り組みです。市東地域に住んでいる人も、市東地域以外の人も、子どもから大人までいろいろな世代の方に参加してもらいたいという目標を持ってスタートし、今年度は3回の開催を計画しました。

自然学校



地元の“匠”と自然薯掘り

扱いを草刈りのプロから伝授。11月に開催された教室『薪割り体験と森あそび』では、自然の中で安全に過ごす心得など、地元の『匠』の知恵や経験が盛りだくさんの内容で、参加者も主催者も「楽しかった!」と、みんな生き生きとした笑顔で市東の魅力を感じていました。今月開催予定の教室『昔遊びと知恵袋』は、市東の里山で開催されます(先着20名を予定)。

今月の教室については、市東地域共創プロジェクトのウェブサイトをご覧ください。



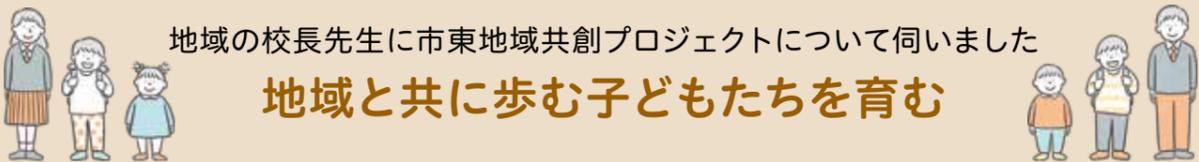
ウェブサイト

市東地域共創プロジェクトは

このような活動をしています!

地域の校長先生に市東地域共創プロジェクトについて伺いました

地域と共に歩む子どもたちを育む





市東中学校
村松 邦生 校長



市東第一小学校
清水 善治 校長

市東地域はとても自然豊かな地域です。住民の皆さんの中には、この地域の自然を生かした竹細工や木工細工、いちはらの伝統食である太巻き寿司などを作る技術や知恵、経験を持った匠といえる方々がたくさんいらっしゃいます。この匠の皆さんは、地域の宝です。

また、市東地域共創プロジェクトの自然や地域の魅力を活用した取り組みや、防災、空き家などの地域課題の解決に向けた取り組みは、市東地域で暮らす皆さんが地域の自然・歴史・人々を知るとともに、自分ができることを考え行動していくきっかけになると期待されます。

子どもたちにとっても、地域に愛着と誇りを持って、地域と共に育つことができる素晴らしい取り組みであると思います。学校としても、連携・協働して市東地域と共に歩んでいきたいと考えています。

市東地域15町会フォトコンテストは、市東地域のまち・人・自然などの魅力を発掘し、多くの人に知ってもらおうと、撮影範囲を市東地域内に限定し、市東の魅力を写真作品にして応募してもらおうという一風変わった写真コンテストです。一昨年開催された第1回の好評を受け、10月に第2回を開催。第1回を超える多くの応募がありました。

受賞作品の発表と応募作品の展示は旧市東第二小体育館で行われ、写真展示に加えてフリーマーケットやミニコンサートも開催。地域イベントとして盛り



市原みつばち牧場もブースを出店
市原みつばち牧場ウェブサイトはこちら

上がりました。なお、次回の応募テーマは『私しか知らない素敵な場所』の予定です。

これからも、住民参加型の表現の場として毎年開催を重ねつつ、集まった多くの写真作品を選定して「市東地域15町会カタログ」として編さんすることを最終目標としています。

当日の様子が、市東地域共創プロジェクトのYouTubeでご覧いただけます。



YouTube



3日間の展示会には大勢の人が訪れた

防災ファミリーキャンプ



夜にはキャンプファイヤーや花火も

近年、大規模災害がいつ発生してもおかしくないといわれ、家庭内での備えがますます重要となっています。そこで、もし大規模災害が起こり普段通りの生活ができない状態になっても、家族が協力して数日間を過ごす『家族防災力』を向上させる必要があります。

防災ファミリーキャンプは、2019年の台風・豪雨災害で大きな被害を受けた教訓から『家族防災力』の向上を目的に、大規模災害を想定した生活を体験するものとして、廃校となった旧市東第二小学校を会場に、8月に1泊2日の日程で開催されました。

キャンプでは、一時避難を想定して炊飯用具や食器などを竹で作成し、実際に炊飯しました。また、会場付近に自生している野草を使用した料理や非常時に使えるバイオトイレの紹介、手持ちのテントやシートを使用しての自宅庭先を想定した避難生活を体験しました。

参加者からは、「家族が知恵を出し合い協力することで、すぐに避難所を利用できない場合でも自宅避難という選択肢があることを学べた」との感想をいただきました。

当日の様子が、市東地域共創プロジェクトのYouTubeや市ウェブサイトからご覧いただけます。



YouTube ウェブサイト

フォトコンテスト



移住者の方から見た市東の魅力を知りました “来て・見て・住んで” わかる市東の魅力

なみき かおり
並木 香織さん

市東の魅力に引かれ、令和3年に横浜から移住。自身の子育てと合わせて地域の課題解決と魅力づくりに取り組む。

子育て世代が少ないのはウイークポイントだと思いますが、それ以上に、上の世代の方たちが生き生きして元気をもらえます。また、地域活動を通して地元の方たちと関わることが多いのですが、地域のことや生活の知恵といったさまざまなことを私も子どもたちも教えていただけます。『ここなら何があっても生きていけるな』と、住んでいて安心感があります。



現在の職場である(株)ONE DROP FARM(瀬又1406)の皆さんと

移住したきっかけ

家の建て替えて横浜から引っ越すことになり、夫の実家の千葉市近郊で探している中で巡り合った家が市東地域にありました。小学校の廃校や、路線バスの廃線も知らずに引っ越しをしましたが、もともと自然が好きで、私の実家と似た感じがあって環境にはすぐになじめました。

市東地域の魅力

豊かな自然環境と人とのつながりが多く残っているのが一番の魅力だと思います。子どもが親以外の地域の大人と関わることが多いですし、学校帰りに野菜をもらって帰ってくるなど、『ありがとう』が自然に出てくる環境だなど。地域の大人が子どもたちを見守ってくれるという子育ての安心感がありますし、なにより子どもが楽しそうに生き生きと育っているのを、親の目から見ても感じます。

実際に住んで感じたこと

移住前に感じていた不安が、『住んでみると思ったほどでは無かったな』というのが正直な感想です。



今後に向けた思いを伺いました 市東のミライをつなぐ

プロジェクト実行委員会会長
にしごり かんじ
西郡 完治さん

市東に住んで50年、地元農業委員やふれあい千葉という里山活動団体でも活動中

私自身は秋田県仙北郡六郷町(現:美郷町)の出身ですが、市原市に移り住み半世紀が過ぎ、今では大切な故郷となりました。市東地域は、隠れた名所や伝統の技を持つ匠がたくさんいる、魅力溢れる地域です。私の願いは愛する故郷、市東の再生・復興・発展です。良き伝統を守り、子どもたちが夢を持って地域で生きていける未来を創るため、「今から・ここから・自ら」の決意で、熱意ある皆さんと新たな挑戦をしています。多くの皆さんの参加とご協力をお待ちしています。

プロジェクトメンバー募集中



私たちと市東を
盛り上げよう!

「地域住民の手による地域の魅力向上」を目標に、市東地域の多様な魅力を発掘し広めることに興味を持たれた方、一緒に活動してみませんか? 地域内外問いませんのでご連絡をお待ちしています!

プロジェクトの
最新情報は
こちらから!



Twitter ウェブサイト

問合せ先 市東地域15町会共創プロジェクト実行委員会
✉ contact@shito-ichihara.com

こんな人たちが市東地域で活動中!

市東地域 15 町会共創プロジェクト実行委員会の皆さんを紹介します。

市東の魅力を届けます!

広報班



市東の魅力を生かした
名産品も開発中

[左より]山田和彦さん、田頭芳樹さん

プロジェクト活動の記録、各種SNSや動画サイト、プロジェクト公式ウェブサイトなどでの広報を担当しています。また、昨年で2回目となる市東地域がテーマのフォトコンテストを企画。地域の皆さんと一体となって市東の魅力を発掘し、市内外へ広めていくことを目指しています。

縁の下の力持ち!

世話役の皆さん



[左より]加藤邦博さん、木村善夫さん、中村伸雄さん、
小出孝雄さん、間殿利雄さん、鶴子政昭さん

地域を大切に思う気持ちや、地域の連帯感、危機感を共有できる仲間を増やしていくこと、全体の活動をサポートしています。学校や地域の皆さんへの声掛けや、未来の子どもたちが自信と誇りの持てる地域の創生に向けて、各班の活動を縁の下で支えます。

食を通じて町おこし!

食班



[左より]小池すみれさん、廣瀬義江さん、山本初美さん、
加治木みち子さん、大塚宏美さん、田頭ゆかりさん

未利用農産物の活用や、地域の保存食・食文化の継承など、食を通じて町おこしを考えているのが食班です。防災ファミリーキャンプでは、食べられる雑草の簡単メニューを披露し、『非常時の食』としてまとめた印刷物の配布などを行いました。今後は、伝統食の講習会などを予定しています。

市東の自然は魅力いっぱい!

土地利用班



[左より]伊藤達也さん、並木香織さん、
小幡勉さん、小池康洋さん

豊かな自然に囲まれた土地の利活用から、地域の課題解決や魅力向上を目指しているのが土地利用班です。「自然と生きる自然塾」を掲げ、特に地域の若者に市東地域が自然と共に培ってきた生きる力と知恵を伝えることを通じて、豊かな里山と生活を取り戻すための活動をしています。